

事務事業名		掛合波多温泉管理事業		所属部	掛合総合センター	所属課	事業管理課
総合計画体系	政策名	〈V〉賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》		所属G	産業振興グループ	課長名	神田直人
	施策名	〈35〉観光の振興		担当者名	菅澤直樹	電話番号	0854-62-0300
	目的:対象	市外の人	意図	A)雲南市を訪れてもらう。B)市内で消費してもらう。		(内線)	4506
	基本事業名	〈105〉受け地づくりの推進		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	観光施設管理事業	
目的:対象	市外の人	意図	受け入れる。		項目 中事業 中事業名	波多温泉管理事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
波多温泉「満壽の湯」の管理運営を指定管理 ・指定管理者：波多コミュニティ協議会 ・指定期間：H24年度～H26年度
施設概要 ・木造瓦葺平屋建て：410㎡ ・浴室：男女各1 ・休憩室：和室10畳、和室15畳 ・食堂及び売店

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動)		26年度計画(26年度に計画する主な活動)		
		指定管理業務 機械設備維持管理業務 施設修繕業務		指定管理業務(更新) 機械設備維持管理業務		
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	ア イベント数	回	16	16	16	16
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	市民及び市外の利用者	ア 雲南市の人口	人	41,159	40,548	40,055	39,949
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
サービス向上により、入湯者の増加を図る。	ア 入湯者数	人	20,035	20,908	20,764	21,000	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)	
指定管理料：6,875千円 機械設備維持管理委託費：1,491千円 施設修繕費(8件)：1,799千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	8,680	11,838	10,165	8,745
		事業費計(A)	千円	8,680	11,838	10,165	8,745
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	240	4	40	
		人件費計(B)	千円	946	16	156	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	9,626	11,854	10,321	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成25年度の入湯者数は約20,000人であり、利用者数も定着している。 開館から12年が経過し、設備や機器の故障など増加しており、修繕費の確保が必要である。	施設の老朽や故障に伴い、平成21～22年度に経済対策予算で、浄化槽修繕、源泉ポンプ更新や従業員休憩室増築を行った。 平成24年度に木質チップボイラーが整備され、平成25年度から燃料の供給を受けている。	食堂部は、テナントとして別会計で営業しているが、一体となった運営が理想である。

事務事業名	掛合波多温泉管理事業	所属部	掛合総合センター	所属課	事業管理課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	設備や機器の故障など増加しており、修繕費の確保が必要である。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	温泉施設は市内数箇所あるが、それぞれ個性ある施設であり、波多地区の拠点施設として重要である。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	既に指定管理しており、管理料の削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	既に指定管理しており削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	対象は市民及び市外の利用者としているほか、対象者からは入湯料をいただいております。公平・公正である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
指定管理が定着しており、運営上問題ない。 開館から12年が経過し、設備や機器の故障など増加しており、修繕費の確保が必要である。			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上		●	維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上		●																
	維持		×																
	低下	×	×																
指定管理が定着しており、運営上問題ない。 開館から12年が経過し、設備や機器の故障など増加しており、修繕費の確保が必要である。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		